

An Introductory Global Overview: The Private Fit to Salient Higher Education Tendencies

Daniel C. Levy
University at Albany, State University of New York

グローバルな展望の概要：
高等教育の潮流に対する私学の適合
ダニエル・レヴィー

要約

私学高等教育は、ここ数十年で急激に拡大し、現在の世界の高等教育全体において主要な機関として存在している。概算ではあるが、総在学者数の四分の一というのが、公正な数であろう。西ヨーロッパのみが、その世界の潮流の例外となっている。新出、既存のものを含め、現在の私学高等教育の拡大は特記すべき事柄である。

本ワーキング・ペーパーは、この私学高等教育の潮流が、いかに高等教育全体の動向に適合しているかを、導入的、部分的な側面から紹介するものである。高等教育全体、また私学高等教育のみにおいても、その動向は多種多様であり、単に私学が高等教育全体の動向に適合している、とまとめるのは過剰な単純化であるといえる。しかし、増拡大、学生の需要吸収、経済の変化、比較的小さな戸別規模、学費への依存、商業主義、階層的ガバナンス、政治的地位、そしてあるグローバルな自己認識など、私学高等教育によって象徴される特徴が顕著である。逆に、私学高等教育において制限されている分野は、学術研究、大学院教育、常勤雇用、公的助成金、公的管理である。

訳：長澤 誠
ニューヨーク州立大学・オルバニー校

Translated by Makoto Nagasawa
University at Albany, State University of New York